

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	パパママハウス		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容、行事等の充実	会議や日々の申し送りの際に、活動容についてスタッフ間で意見を出し合い、活動内容が固定化しないよう内容を把握することで、活動内容が固定化しないようにしている。 行事も季節に応じて実施するなど、充実するように心掛けている。	ご利用者様それぞれのニーズをさらに把握して、ニーズに応じた活動を行う必要がある。
2	卒業後の円滑な移行	生活介護事業所と多機能事業所としての運営をしており、卒業前からスムーズに移行できるようにしている。 行事等で定期的な関わりを持つことで、安心して移行できるようにしている 個々のニーズに合わせて日常動作訓練、創作的活動、集団生活適応訓練等を活動に取り入れている。集中力や積極性、表現力などへのアプローチを行っている。	将来のことについてご家族様と定期的に面談を行い、ご利用者様やご家族様に安心して移行ができるようにする。
3	安心して過ごすことができる環境	全床面フラットなことはもちろんのこと、床暖房を設置するなど、ご利用者様が安心して過ごすことができる環境を有している。スペースも定員と比較して広い。 スタッフも看護職員が常勤含め複数名で配置されている。	環境面だけではなく、支援面についても安心してご利用いただけるように、スタッフ間で情報共有をこまめに実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わり	地域との関わりが希薄であるが、ご利用者様よりその必要性を感じないとの意見もある。小学校が目前にあるがご利用者様の中でそこに通っている方もおらず、関わりが浅い。	今後、保護者様にその必要性を確認するなどし、地域のイベント等に参加するなど検討を行う。
2	保護者様同士の関わり	保護者会を通して事業所についてのご意見を頂戴したりご家族間の交流を図りたいが、毎年保護者会を実施しているものの年々参加者が減少している。必要性を感じておられないこともある。	積極的な参加を行っていただけるよう保護者会への参加を促すとともに、個別面談も随時実施し事業所運営に取り入れる。
3			